

2009年度第2四半期（4-9月）決算の概要

1. 経営成績

- (1) 売上高は、需要の減少と価格低下により、連結・単体とも大幅な減収となりました。
- (2) 利益面では、原燃料価格の低下に加え、不況対策やコストダウンの効果で連結営業利益は22.5億円（前年同期比13%増）、連結経常利益は持分法投資利益がマイナスに転じたことや為替差益の減少により21.6億円（前年同期比7%減）となりました。
- (3) 不況克服のための緊急対策（報酬・給与の減額、経費の大幅削減等）および中長期の対策を継続して取り組んでいます。
- (4) 第2四半期末配当は、前期末配当と同じ1株当たり5円50銭とさせていただきます。

（単位：億円）

	連 結				単 体			
	'09年度 4-9月	'08年度 4-9月	差 異		'09年度 4-9月	'08年度 4-9月	差 異	
			金額	伸び率(%)			金額	伸び率(%)
売上高	553.7	710.5	△156.7	△22.1	385.3	530.3	△145.0	△27.3
営業利益	22.5	19.9	2.6	13.0	9.4	18.4	△9.0	△49.1
経常利益	21.6	23.2	△1.6	△6.8	16.6	28.6	△12.0	△41.9
当期純利益	8.7	12.1	△3.3	△27.7	12.0	19.0	△7.0	△36.9

2. 分野別連結売上高

（単位：億円）

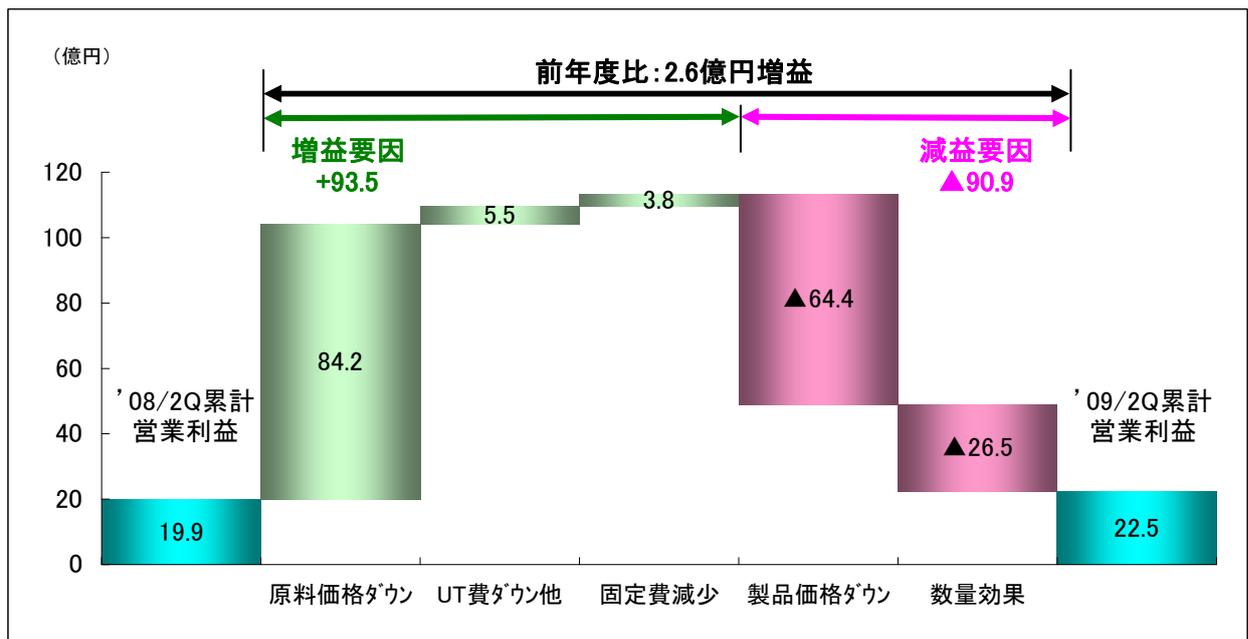
	'09年度4-9月		'08年度4-9月		前年同期比	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	差 異	伸び率(%)
生活・健康産業関連	213	38.5	228	32.1	△15	△6.7
機械・輸送機産業関連	116	21.0	175	24.7	△59	△33.7
プラスチック・繊維産業関連	72	13.0	95	13.4	△23	△24.1
情報・電気電子産業関連	84	15.2	115	16.2	△31	△27.0
環境・住設関連・その他	68	12.2	97	13.6	△29	△29.5
合 計	554	100.0	710	100.0	△157	△22.1

3. 分野別連結営業利益

（単位：億円）

	'09年度 4-9月	'08年度 4-9月	前年同期比 差 異
生活・健康産業関連	17.0	2.3	14.7
機械・輸送機産業関連	0.3	2.7	△2.4
プラスチック・繊維産業関連	3.3	5.8	△2.5
情報・電気電子産業関連	4.8	6.8	△2.0
環境・住設関連・その他	△2.9	2.4	△5.3
合 計	22.5	19.9	2.6

4. 営業利益の増減分析（対前年同期比）



5. 2009年度業績予想

第2四半期（4－9月）業績が7月27日の発表値を上回り、10－3月も原料高や円高の懸念はあるものの、需要が堅調に推移すると想定されるため、10月26日に年間業績予想を修正しました。

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	1,115 (△181)	42 (36)	40 (35)	17 (41)
単体	775 (△155)	17 (16)	30 (14)	20 (20)

（ ）内は前期比差額

6. トピックス

(1) CSRガイドラインの制定

本年8月の取締役会で、当社グループが取り組むべきCSR（社会的責任）活動の指針11項目からなる「CSRガイドライン」と指針ごとの推進責任者を決定しました。このCSRガイドラインに基づいて、グループ全体で組織的、計画的にCSR活動に取り組みます。

(2) 「三洋化成の森」づくり活動

当社は本年11月1日に創立60周年を迎えます。これを記念して、CSR（企業の社会的責任）活動の一環として、「京都モデルフォレスト運動」※の趣旨に賛同し、京都府和東町湯船地区の森林において「三洋化成の森」づくり活動を開始します。

この活動は、当社が森林の整備に要する資金を提供するとともに、(社)京都モデルフォレスト協会等のご指導、ご協力を得ながら、当社の社員等のボランティア活動により森林利用保全活動に取り組むというものです。

※ 京都府および(社)京都モデルフォレスト協会が推進している、森の恵みを受けている府民みんなで京都の森を守り育む取り組みです。